

葛城市管理職向け情報セキュリティ研修会の報告

2006年11月27日

NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ

この度、葛城市において、一般職員向けの情報セキュリティ研修会に続いて、管理職向け情報セキュリティ研修会を行いました。その報告をいたします。

日時: 11月27日 17:45～19:30

会場: 當麻文化会館

講師: e-AAC シニアアドバイザー 高瀬宜士氏 (帝塚山大学 経営情報学部 教授)

出席者: 88名

講演内容:

市長に代って、岡本助役から、地方自治体において、情報セキュリティに関する管理職としての心構えについて訓辞があった。続いて行われた高瀬教授の概要は以下のとおり。

題名: 情報漏えいとセキュリティ対策 (あなたの市は安心できますか)

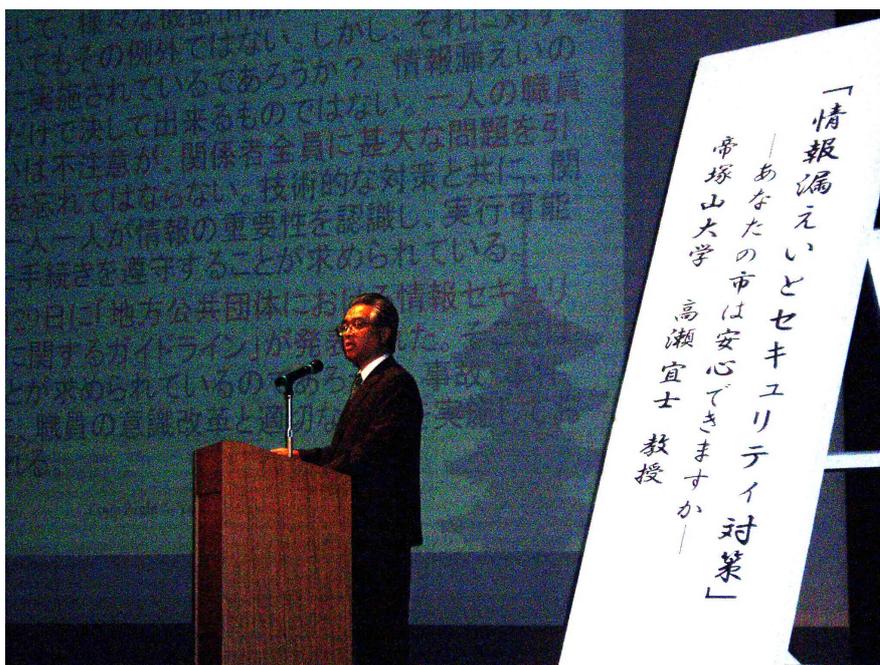
Winnyを始めとする情報漏えいはとどまることなく、個人情報をはじめとして、様々な機密情報が漏えいしている。地方自治体においてもその例外ではない。

しかし、それに対する対策は適切に実施されているであろうか? 情報漏えいの防止は技術だけで決して出来るものではない。一人の職員の怠慢あるいは不注意が、関係者全員に莫大な問題を引き起こすことを忘れてはならない。技術的な対策と共に、関係する職員一人一人が情報の重要性を認識し、実行可能な定められた手続を遵守することが求められている。

平成18年9月29日に「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が発表された。そこではどのようなことが求められているのであろうか。事故・事件が起きる前に、職員の意識改革と適切な対策を実施しておくことが望まれる。

講演の項目

- ・最新ウイルス事例(亀田ウイルス)



- ・「水と安全はただ」と考えている日本人（無料で手に入ると思い込んでいる）
- ・情報セキュリティの必要性（セキュリティ意識の低い理由）
- ・絶えない情報流出事故
- ・摂南大学島田達巳教授の自治体調査から
- ・政府情報セキュリティ統一基準の考え方
- ・地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
- ・おわりに

